

たい人を増やす、そして地域間競争に勝たなければなりません。そのためには、他のどこにもない長浜らしさを対外的にアピールし、長浜市が移住・定住先、訪問先に行きやすくなるのが重要です。その一つの方法として、黒壁がコーディネートするツーリズムを提案していきます。サイクリングや自然・歴史ツアーを行うなど、この地にある魅力を活かしたコンテンツを提供していきたいですね。

3. Vision (ビジョン)

社員の笑顔あふれる会社

黒壁のビジョンは、「笑顔があふれる会社にする」です。従業員の皆が満足し、笑顔を絶やさない会社になりたいです。もともと黒壁の社員は会社をとっても愛しており、優秀です。それをうまくマネジメントして、従業員自らプロジェクトを立案・実行してもらい、やる気と満足感が得られることで初めてお客様の満足が実現すると考えています。また、やる気のあるパート・アルバイト社員は、業績回復に合わせて正社員化していきます。経営改革では、まず人件費をカットする場合がありますが、そうではなく、まずは売り上げを上げる改革することが先決です。会社経営に大切なのは人財ですから。

黒壁独自のガラス文化を作っていく

ガラス事業部長 伊吹 健さん



ガラス事業は、黒壁ガラス館、黒壁ガラススタジオ、gallery AMISU（ギャラリーあみす）、黒壁体験教室を中心に展開します。これまでの黒壁は、ヨーロッパなどのガラス製品を仕入れて販売することが中心でしたが、これでは黒壁の独自性が発揮できませんし、当社の作家も育成できません。他社との差別化を図るために、黒壁ガラス館、黒壁ガラススタジオ、gallery AMISUの3店舗をつまぐ連携させながら、黒壁独自のガラス文化の創造を図っていきます。

今回新設したgallery AMISUは、国内有数のガラス作家の最高レベルの作品を展示し、お客様に楽しんでいただきます。長期展望になりますが、観光目的で来るお客様から、『ガラスを見るために、買うために来るお客様』へと変えていきたいと考えています。また、当社のガラス作家と国内有数のガラス作家とが交流することで、作家のレベルを上げていきたいというのも狙いです。

黒壁ガラススタジオには、お客様の

ニーズに合わせて、当社作家が作った生活で使えるガラスを中心に置きました。そして、gallery AMISUには先述のように国内最高峰のガラス商品を置くことで、ガラス事業としてお手頃から最高級までフルラインアップでガラスの魅力を楽しんでいただけるようにしています。そして、『黒壁に来ないと入手できない』価値をもたせます。また体験教室では、ガラスの体験メニューの充実とあわせて、ガラス以外の長浜の魅力を満喫できる体験を提供していきたいと考えています。

リニューアル店舗

■黒壁ガラス館

■gallery AMISU（ギャラリーあみす）

■黒壁ガラススタジオ

■黒壁体験教室



gallery AMISU（ギャラリーあみす）

飲食事業では、黒壁発の食文化を作り発信できるよう、3つの店舗がリニューアルします。まずは、『Bwak French ROKU（びわこフレンチ）』。黒壁周辺には、落ち着いてゆっくり食事を楽しめるお店が少ないので、蔵のある町屋でノスタルジーを感じつつ、観光客はもちろんのこと、地元長浜の人にもぜひご利用いただきたいです。素材は、地元滋賀の農家や漁師の顔が見えるものを可能な限り使っていきます。

また、5月以降にオープン予定の『96CAFE（クロカフェ）』では、9種類のドリンクと6種類のスイーツを用意します。スイーツは、食事用厨房とほぼ同じ面積のスイーツ厨房を用意し力を入れています。さらに、飲み物は世界で戦えるコーヒーを用意します。世界中から、生産者の顔が見えるおいしい豆を仕入れ、水はそのコーヒー豆に合う九州の酒蔵の仕込み水を使い、入れ方も十分研究しました。

そして、3店目が『mama-kuro（ママクロ）』です。『ママが笑顔だと

地域ダントツ一番のサービスを

飲食事業部長 笹原司之さん



子どももHAPPY」をテーマに、子どもと一緒に気軽においしく、ごはんとおやつが食べられて、心地よく過ごせるお店にしました。

このようにこだわりの3店舗ですが、食事を提供するだけでなく、接客にもしっかりと力を入れてきました。型にはまったマニュアル通りの接客ではなく、お客様一人ひとりに対してしっかりと対応できるようにしています。目指すは、『地域ダントツ一番のサービス』です。

リニューアル店舗

■Bwak French ROKU（びわこフレンチ）

■96CAFE（クロカフェ）

5月以降オープン

■mama-kuro（ママクロ）

5月以降オープン

生産者の想いを伝えたい

AMISU事業部長 前田雅美さん



県内の生産者や職人は、とても良いものを作っているのに、今までそれらを紹介しきれていませんでした。



黒壁AMISU（くろかべあみす）

また、モノが余る成熟した社会のなかで、消費者は、自分の感性で納得いくものを選ぶ人が増えてきています。そのため、黒壁が地域の一員として果たす役割は、地域が誇る『ホンモノ』を流通・マーケットにのせ、これらを消費者に向けて販路拡大し、地域の活性を支援していくことだと考えています。『AMISU（アミス）』とは、『見立て』という意味で、黒壁AMISUは、滋賀の職人が生み出す『ホンモノ』だけを見立ててお客様にお届けするお店です。

私は、滋賀県中を隈なく歩き回り、色々な生産者や職人の皆さんとつながりを持ちながら、『ホンモノ』の素材だけでなく、作り手の想いも仕入れてきました。その想いを上手にコーディネートして、消費者の皆さんにお届けしたいと思っています。

店内の商品は、食品から工芸品まで県内各地から選りすぐりの逸品約300種類を置いていきます。また、生産者・職人と協働で黒壁オリジナル商品も積極的に提供していきたいと考えています。

リニューアル店舗

■黒壁AMISU（くろかべあみす）

今年新たに生まれ変わる黒壁ですが、経営再生から市全域の活性化まで、バイタリティあふれる弓削社長率いる黒壁の挑戦は始まったばかりです。

■事業内容に関する問合せ先

株式会社黒壁

☎65-23330



黒壁ガラススタジオ